

2012年3月9日
イオン株式会社

多大な被害をもたらした未曾有の大震災の発生から1年、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。国内観測史上最大規模の地震に続く、津波、原発事故など、幾多の難局を乗り越えることができたのは、お客さまをはじめ、お取引先さま、関係各社の皆さまからのご支援・ご協力があったのことに、いま一度お礼申し上げます。同時に、自ら被災したにもかかわらず、地域のお客さまのために強い使命感を持って立ち上がり、団結して困難に立ち向かってくれたイオンの従業員に、改めて敬意を表します。

この未曾有の大震災に際し、私たちはグループ一丸となって、商品調達・供給体制の早期回復と店舗の早期再開・通常営業に努めると同時に、募金活動や被災地産品の販売促進を展開するなど、被災地の支援活動に尽力いたしました。さらに、復旧から復興へと刻々と変化し続けるお客さまの価値観やニーズに迅速かつ的確に対応し、きめ細かいサービス・商品提供に注力してまいりました。

そこにあったのは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という、イオンの不変の理念でした。“買物ができ、日常生活に必要なものが手軽に手に入る”という「普通」の生活をご提供すること。それこそが社会インフラである私たち小売業の使命です。この度の東日本大震災は、平和の大切さを思い知らせると同時に、1945年の終戦時に掲げた「小売業は平和産業である」という思いを実感させる出来事でした。営業再開した店舗に来店されたお客さまの涙と笑顔に、私たちは、地域の皆さまのライフラインを担っているという小売業の使命を再認識したのです。

イオンは海外においても、地域のお客さまの豊かで平和な社会づくりに貢献するという思いのもと、1984年のマレーシアを皮切りにアジア各国で事業基盤を拡大してきました。2011年12月末現在、海外における店舗数は2,400店に達しています。本年3月には、中国のお客さまに向けて、現地で開発・生産する「トップバリュ」の販売を開始し、安全・安心なアイテムをお買い得価格でご提供しています。小売業に加え、ディベロッパー、金融、サービス、アミューズメント事業など、イオンは総合力を活かし、グループ一体となってアジアでの事業展開を加速させてまいります。

イオンはこれからも、「平和・人間・地域」という基本理念のもと、被災地の復興とその先にある「夢のある未来」の実現に向け、長期的に支援し続けることをお約束します。そして、2011年を初年度とする3カ年の中期経営計画を確実に遂行し、地域のお客さまの“くらしのライフライン”として、被災地の復興はもとより、アジアの人々の平和で豊かなくらしの実現に貢献すべく、全力で取り組んでまいります。

皆さまの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。